

化学工業日報に当社の塗り床材が掲載されました！

【化学工業日報 2014.9.12 付】

化

ライオンが供与を断る
かのたろで現地生産に
つなげる計画だ。

一方、日本では「ブ
グリーントール」が
JIS（日本工業規格）
の認証を取得した。T
S K 5675 は、は
能が実証さ
が推進する
採取にア
トが入り、
る可能性が
で、ハイ
場や航業
績があり、
ラフコート
を通じて進
中東の需要
輸出と、最
大マレーン
で対応して
製造に集れ
握手先ア

約40 リチウムイオン電池や 充テロから大電流電
上高の 機器用など、今後さら 用銀ペースト事業を買収
が占め なる活況が見られるエ
トフォ レクトロニクス事業を成
料とを 長分餅の1つに位置付け Vプロダクト事業を手
がさし、ている。関係では使用 ける東フュージョン
炭石 されている材料有機系 を買収した。従来の材料
分野から山下分 詳細機能を強化。拡充し
野へ事業領域を た太陽電池用ペースト、
拡張する。一方 UV露光 導電性ポリマ
で、樹脂事業は、ーに関する用途開発、サ
すをポルト フォリオの入れ ペーションは、材料、フ
ポリオの入れ ペーションは、材料、フ
ポリオの入れ ペーションは、材料、フ

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

日本漆油協会による
と、不燃塗料仕付材で
ある塗料の2013年度
の市場規模は前年度で
微増の14億4000万円
となり、厚上面積は7
0億平方メートル、2年
前の年度に比べ6.7%
さびに前年実績を上回
た。前年度前年を上回

入が増えたとことが海
要を押し上げた。さら
る。中日本大業の復旧工
事が一巡した。年度は、
前の年度に比べ6.7%
高の伸び率を記録した。使
力力の市場規模は、概

コーアルに合わせカラ
ータイプを追加した。組
み合わせる上塗りには
同様のロングセラーで断
裂層や耐摩耗性に優れた
エポタフコート」など
を推奨している。

長と笑う。
専用の塗料を少なく
でも使用できる一液の王
シリーズが同社の看板
製品だ。プライマは
高強度エポキシ系を主
に据えつつ、近注目を
あびている樹脂ワレタ
材の補修材も揃える。二
液の小ささを注ぎして小
回りの利く製造環境を今
後も進める。床面につ
たことがあれば日米商
会、という調子をひび
いた。

た住宅とみられるが、
「物件数が増えたこと
で、15年度の新設住宅着
工数は前年度比10.6%
増の88万7千戸と高
い水準で推移した。その
多くは賃貸や外装材を使
った住宅とみられるが、
「物件数が増えたこと
で、15年度の新設住宅着
工数は前年度比10.6%
増の88万7千戸と高
い水準で推移した。その
多くは賃貸や外装材を使
った住宅とみられるが、

「物件数が増えたこと
で、15年度の新設住宅着
工数は前年度比10.6%
増の88万7千戸と高
い水準で推移した。その
多くは賃貸や外装材を使
った住宅とみられるが、

「物件数が増えたこと
で、15年度の新設住宅着
工数は前年度比10.6%
増の88万7千戸と高
い水準で推移した。その
多くは賃貸や外装材を使
った住宅とみられるが、

「物件数が増えたこと
で、15年度の新設住宅着
工数は前年度比10.6%
増の88万7千戸と高
い水準で推移した。その
多くは賃貸や外装材を使
った住宅とみられるが、

「物件数が増えたこと
で、15年度の新設住宅着
工数は前年度比10.6%
増の88万7千戸と高
い水準で推移した。その
多くは賃貸や外装材を使
った住宅とみられるが、

食品工場向けに改良 プライマー 硬化速度を向上

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

今回、食糧の防衛を主
目的とした既存貯蔵
を改良し、プライマーと
仕上げを兼ねる新製品を
としてリニューアルし
る。これは、既存のT
Sシルは、既存のT
が急務、そこで種田中
食品工場でも進ませる
よう、硬化剤の配合を
を調整して塗り後12
時間を短縮し、塗り
すも改良を加えた、
プライマー用途はもち
ろく重層塗りで数回コ
トを塗り、上塗りフ
ラマと仕上げを兼用
する性能は従来品から受
け継いだ。下地は露光
本部分に幅なく対応す
る。主な従来品はクリエ
イブのたつたが、リニ

高機能材料

ポルト体制整備

約40 リチウムイオン電池や 充テロから大電流電
上高の 機器用など、今後さら 用銀ペースト事業を買収
が占め なる活況が見られるエ
トフォ レクトロニクス事業を成
料とを 長分餅の1つに位置付け Vプロダクト事業を手
がさし、ている。関係では使用 ける東フュージョン
炭石 されている材料有機系 を買収した。従来の材料
分野から山下分 詳細機能を強化。拡充し
野へ事業領域を た太陽電池用ペースト、
拡張する。一方 UV露光 導電性ポリマ
で、樹脂事業は、ーに関する用途開発、サ
すをポルト フォリオの入れ ペーションは、材料、フ
ポリオの入れ ペーションは、材料、フ
ポリオの入れ ペーションは、材料、フ



高機能材料の製造現場

短評

短評の内容は、可成り詳細な
分析や、市場動向の把握が
できる。また、今後の市場
動向についても、的確な
予測が示されている。この
ように、市場動向の把握が
できることは、企業にとって
非常に重要な情報である。
また、今後の市場動向につ
いては、引き続き注目をあ
びたい。